

個別施策

- G1-1 確かな学力の向上を図ります
- G1-2 健やかな心と体を育成します
- G1-3 学校・家庭・地域の連携による教育の充実を図ります
- G1-4 子どもが安全・安心に学べる教育環境を整備します

ア 施策の目的

子どもが、将来の夢や希望を自らの言葉で語り、実現に向けて努力している。

イ 基本施策の評価

D c 目標を達成しておらず、目標達成に向けた課題の克服などがやや遅れている

ウ 成果指標（「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標）

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R1	R2	
夢や目標を持っている小中学生の割合	78.5% (27年度)	↑	目標値	79.5	80.5	81.5	82.5	83.5
			実績値	76.8	77.7	77.2	77.6	
			達成率	96.6%	96.5%	94.7%	94.1%	
自分によいところがあると思う小中学生の割合	74.8% (27年度)	↑	目標値	75.8	76.8	77.8	78.8	79.8
			実績値	74.1	75.3	82.3	77.8	
			達成率	97.8%	98.0%	105.8%	98.7%	
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している小中学生の割合※	71.4% (27年度)	↑	目標値	72.4	73.4	74.4	75.4	76.4
			実績値	70.3	72.0		71.4	
			達成率	97.1%	98.1%		94.7%	

※ 全国学力・学習状況調査結果を基にしているが、平成30年度は「失敗を恐れなくて挑戦する」調査項目なし。

エ 評価結果の妥当性

本部会での議論を踏まえて考えると、評価結果については妥当であると判断する。

オ 審議会における政策評価に関する意見

- 基本施策の成果指標として、「夢や目標を持っている小学生の割合」、「自分によいところがあると思う小中学生の割合」、「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している小中学生の割合」となっているが、教育の成果を図る指標として適当なのか。すぐには適応できなくても時間をかけるとできる子どももいるかもしれない。そういうところに対しての指導者からの温かいまなざしなどがあってもいいのではないか。
- 成果指標として「平和の大切さを自ら発信しようと思う子どもの割合」とあるが、「しようと思う」ではなく、「実際に発信した」ということの方が、今後の被爆の継承というところではすごく前に進むのではないかと思うので、アンケートの設問の仕方

を変えるべきではないか。

#### カ 審議会における施策推進に向けた提案

- 教職員によるデジタル教科書等 I C T の活用が進んだことにより、わかりやすい授業づくりにつながり、教職員の指導力が向上すると記載があるが、その効果はどのように測るのか。また、学力調査を検証軸とした学力向上の取組みについて、小学3年から中学3年の7年に渡って個々の児童生徒の課題に沿った学習指導ができたとあるが、どのような指導を行ったのかなど、わかるように具体的に記載していただきたい。
- 学力調査結果を活用して、個別指導にどう生かされたかが見えない。学力については格差が問題になっている。テスト結果を保護者に渡すだけでは、学力調査結果を十分に活かされる親とそうでない親がいるので、格差が逆に開くだけなのではないか。
- 学力調査を活用して個別に「つまづきの要因」を検証し、どのような指導法がよいのか教育方法を変えていく必要があるのではないか。また、教員自身の自発的な自己啓発も必要ではないか。
- 英語教育について、小学校でどういうことをして、中学校でどのように変わっていくのか、保護者以外には伝わっていない。また、小学校、中学校でどのレベルまで到達することを目標としているのか、長崎市全体の目標を現場の教員まで浸透させて取り組む必要がある。
- 今はほとんどの家庭のトイレは洋式なので、和式に入れられない子どもたちが増えている。小中学校のトイレの洋式化を早く実現していただきたい。
- 長崎の人口減少の要因として、「長崎を愛する気持ちが足りない」ことが挙げられるのではないか。小、中学校だけでなく未就学の段階から、長崎の文化、交流の歴史などについて学ぶ機会があるとよいのではないか。
- コロナ禍の中、学校において、どう支えあってどう乗り越えてきたかという経験を検証する場があると次に活かせるのではないか。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で学校現場で困ったことは何なのか、市民として手伝えることがわかるようにするといいのではないか。
- 学校に対する市民からの支援は地域で行う必要がある。地域の子どもは地域で支えると考えなければならない。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で教員、生徒、家庭それぞれに様々な問題が生じ、なかなかうまくいかないと思うが、しっかりと進めていただきたい。

#### キ 次期総合計画の策定に向けた意見

- 教育については、すぐに成果がでるものではないので、成果指標が主観的なものが多くなってしまっている。それが結局は、全体の評価を下げることに繋がっているため、次期総合計画では成果指標を見直す必要がある。また、個々の取組み内容等の記載に具体性がない。例えば、効果がないとは実際にどういうことなのかなど、逆に、指標はそういうところにつくるものだと思うので検討していただきたい。